

「第3回アドバイザー会議」における評価区分及び評価内容

調書番号: 2 事業名: 県民文化祭開催費補助金

アドバイザー	評価区分	評価内容
五味アドバイザー	「要改善」	<p>開催事業が増加しているようで、担当課の負担も非常に重いものになってきているのではないかと感じています。どこかで歯止めを掛ける必要があるのではないかと感じています。作業の中で、切り離せる作業を区分し、効率的な運営を図るべきだと思います。</p> <p>参加者の固定化をさけるように、実施団体に働きかけ、開催の周知についてもその方法を検討するように。</p>
諸平アドバイザー	「要改善」	<p>県民文化祭の総参加者数は、全県民の3分の1を超えて、県民参加による文化芸術活動の活性化に結びついている。</p> <p>県が直営で行わない事業については、各部門の運営状況と多岐にわたる内容を把握するのは各部門からの報告によっていると思うが、新しい部門の運営と共に既存の部門との合同開催など、常に状況把握を行い見直しを行っていただきたい。この事業は終期を決められていないので、新しく平成26年度から始まった、国民文化祭の派遣事業についても、漫然と引き続き続けることのないよう、必ず見直しを行っていただきたい。</p>
小口アドバイザー	「要改善」	<p>ジャンルも増えてきて、全体の参加者数も相当増えてきているが、それに伴って、県費負担と業務負担が非常に大きいと感じた。より少ない負担で、幅広い人に参加してもらおうという観点から見直しが必要という意味で、「要改善」とした。</p> <p>改善のポイントの一つ目は、ジャンルごとの自主運営によって県の事務負担を減らす、というのが大きな目標として掲げられているが、なかなか大きな減少がみられていないのが現実である。3年くらい先にはこのくらい減らすという目標をたてて、年度目標におとしこんで、着実な改善をしていただきたい。</p> <p>2つ目は、自主的に運営されている市町村のイベントも加えての参加人数を成果目標としているが、県の努力が結果につながる部分のみを成果目標として事業を展開するのが、適当ではないか。</p> <p>3つ目は、常に参加者の分析を行っていただき、より幅広い層の県民が、バランスよく参加するイベントの企画、周知の方法の検討について、改めてお願いしたい。</p>